B

おぼえておきたい基本操作

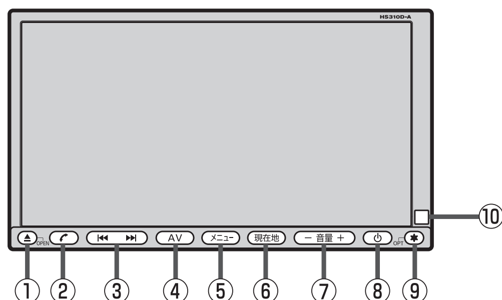
HS310D-A
HS310D-W
HS310-A
HS310-W

各部の名称とはたらき

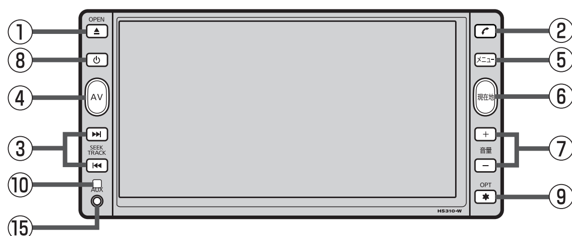
HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

パネル部(CLOSE状態)

HS310D-A
HS310-A

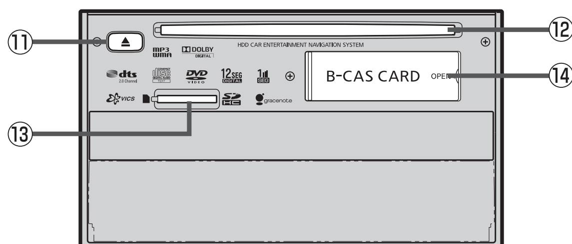


HS310D-W
HS310-W

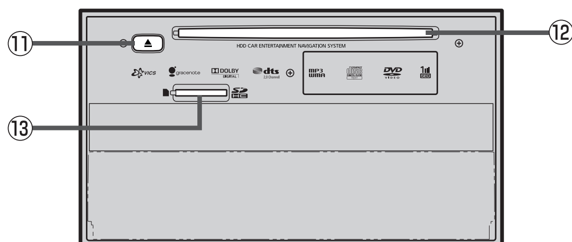


パネル部(OPEN状態)

HS310D-A
HS310D-W



HS310-A
HS310-W



① [▲] ボタン(OPEN)
- ディスク／SDカードを出し入れするときに押します。☞ B–5、B–6
- 画面の角度を調整するときに長押しします。☞ B–4

② [電話] ボタン(電話)
ハンズフリー MENU画面を表示します。☞ G–2

③ [⏮ ⏭] ボタン／[⏮] [⏭] ボタン
オーディオ操作で好きなトラックや放送局を選んだり、早送り／早戻しをすることができます。
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム A–3

④ [AV] ボタン
AV SOURCE画面または選択中のオーディオ画面を表示します。☞ H–7

⑤ [メニュー] ボタン
- メニュー画面を表示します。☞ B–18
- 押し続けると画面調整画面を表示します。☞ H–2

⑥ [現在地] ボタン
現在地の地図を表示します。☞ B–10

⑦ [− 音量 +] ボタン／[−] [+] ボタン
オーディオの音量を調整します。
☞ H–6
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム A–3

⑧ [⏻] ボタン(AV電源)
- AV電源をON／OFFするときに使用します。☞ H–6
- 2秒以上長押しで画面を消します。☞ H–5

⑨ [✱] ボタン(オプション)
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。☞ G–3
- サイドブラインドモニター映像画面を表示します。☞ G–8

⑩ リモコン受光部

⑪ [▲] ボタン(DVD／CDイジェクト)
☞ B–5

⑫ ディスク挿入口 ☞ B–5

⑬ SDカード挿入口 ☞ B–6

⑭ B-CASカード挿入口
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム J-59

⑮ AUX端子
市販のポータブルオーディオ機器を接続します。
☞ 別冊のオリジナルマルチシステム A–3

※オーディオに関するパネル部の説明につきましては☞ 別冊のオリジナルマルチシステム A–3をご覧ください。

ディスプレイ部の角度を調整する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

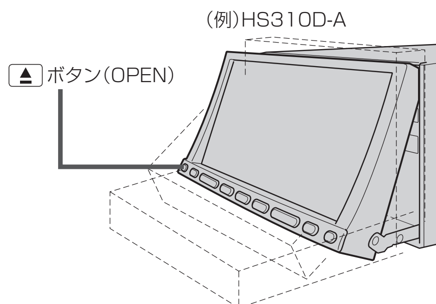


角度調整をするときは手や指などをはさまないよう注意してください。けがや、ディスプレイの故障の原因になります。

1 ▲(OPEN)を長押しする。(約0.7秒以上)

ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。ボタンを長押しするごとに1段階ずつ傾きます。(全5段階)

(例)HS310D-A



アドバイス

- ▲(OPEN)については☞B-2でご確認ください。
- 角度調整をしても車のキースイッチをOFFにすると、ディスプレイ部は自動で閉じ収納されますが、次回、車のキースイッチを変更すると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。

ディスクを入れる／取り出す

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W



ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠注意

- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中に ▲ (OPEN)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- ディスクを出し入れするときには、安全のため、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。

1 ▲ (OPEN)を押す。

：ディスプレイ部が開き、
ディスク挿入口があらわれます。

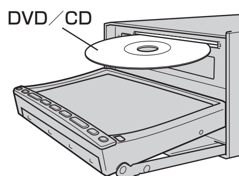
(例)HS310D-A



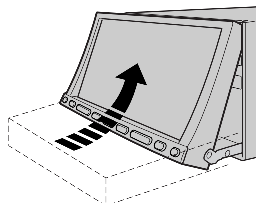
▲ ボタン(OPEN)

2 ディスク挿入口にDVD／CDを挿入する。

：自動でディスプレイ部が閉じます。







※ ▲ ボタン(OPEN)／ディスク挿入口については☞ B–2でご確認ください。

■ ディスクを取り出す場合

① 上記手順 1 にしたがって、ディスプレイ部を開き、 ▲ (DVD/CDイジェクト)を押してDVD／CDを取り出す。

② ▲ (OPEN)を押して、ディスプレイ部を閉じる。


アドバイス

- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間DVD／CDを挿入していると、DVD／CDが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生がはじまります。
- CDを挿入すると自動で録音が開始する初期設定になっています。設定を変更するには☞別冊のオリジナルマナーシステム B–2をご覧ください。

SDカードを入れる／取り出す

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W



ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- SDカード挿入途中に ▲ (OPEN)を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- SDカードを出し入れするときには、安全のため、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。
- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターに装着してご使用ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなったり機器の故障の原因になります。

1 ▲ (OPEN)を押す。

：ディスプレイ部が開き、
SDカード挿入口があらわれます。

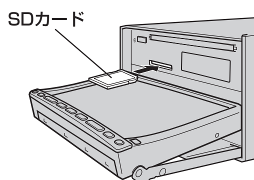
(例)HS310D-A



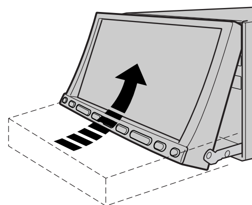
---

2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイ部が閉じます。







※ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※ ▲ ボタン(OPEN)／SDカード挿入口については☞ B–2でご確認ください。

■ SDカードを取り出す場合

① 上記手順 **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、SDカードを1回押してから取り出す。

② ▲ (OPEN)を押して、ディスプレイ部を閉じる。

アドバイス

- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

地図を表示する

1 車のキースイッチを「ACC」または「ON」に入れる。

：メッセージ画面が表示され、しばらくすると現在地の地図画面が表示されます。

起動初期画面







安全運転メッセージ

測位計算中

「あれ？画面がちがう…」
起動初期画面を表示した後、前回車のキースイッチを切ったときに表示していたモードの画面になります。
ナビゲーション画面にするには、現在地 を押してください。

現在地表示画面



自車マーク

GPS受信表示
黄色：GPS衛星電波の受信状態が良い。
（GPSを使った測位ができる。）
灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。
（GPSを使った測位ができない。）
※測位計算中も、灰色のままです。

アドバイス

- 画面の明るさを調整することができます。「映像の調整のしかた」H–2をご覧ください。
- 現在地表示画面の見かたについては、「現在地を表示する」B–10をご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」A–14をご覧ください。
- 安全運転メッセージ画面は時間帯によってメッセージ表示が異なります。
- 安全運転メッセージの表示を止める場合は、「安全運転メッセージの設定をする」G–36をご覧ください。

現在地表示について

GPS受信表示

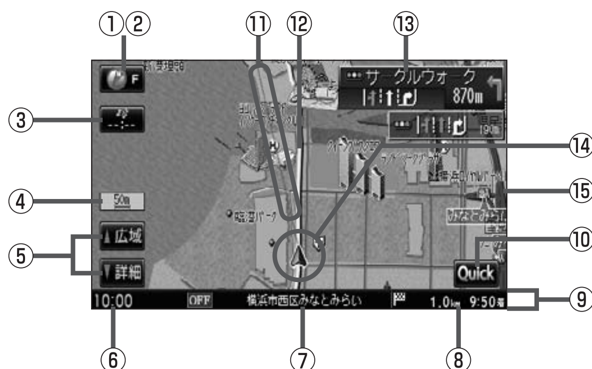


- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。
  実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。
  「GPS衛星の電波受信と測位」A–14
  「現在地を表示する」B–10
- GPS受信表示の背景の色で、現在の測位の状態がわかります。この表示が灰色の場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」A–14にしたがって、電波を受信してください。
- **お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、日産自動車(株)グローバル本社付近を表示します。**

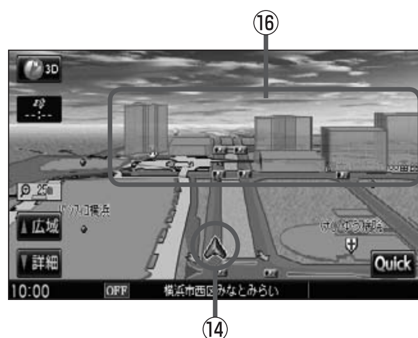
代表的な画面の表示内容について

ナビゲーションシステムでは、いろいろな情報を地図画面に表示しています。

平面地図画面



3D地図画面



①GPS受信表示
☞B-7
現在地の測位の状態を色で示します。
黄色：現在地の測位ができている。
灰色：現在地の測位ができていない、
　　　または測位計算中。

 アドバイス

測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてから約3～4分間はGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

② 方位 ボタン

地図表示(方位)を切り替えることができます。
☞B-11

③ VICSタイムスタンプ ボタン
- VICS情報が提供された時刻を表示します。
☞E-8
- 渋滞／規制地点を表示します。
☞D-18

④縮尺スケール
地図のスケールを表示します。
☞B-16

⑤ 広域 ／ 詳細 ボタン
地図のスケールを変更します。
☞B-16

⑥現在の時刻

⑦周辺の住所(または道路名)／AUDIO情報
☞F-7

⑧目的地への残距離、到着予想時刻表示
ルート案内時に、目的地への残距離と到着予想時刻を表示します。

⑨情報バー

⑩ Quick ボタン
☞B-23

⑪目的地方向表示
ルート設定時赤い直線で目的地の方向を表示します。

⑫設定ルート
ルート探索を行なうと、探索されたルート(おすすめルート)が太い黄色またはピンク色(設定による☞「■ルート色の設定をする場合」F-10)で表示されます。
探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。

⑬交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を橙色で表示します。
※お客さまの設定によっては表示されません。☞F-10

⑭自車マーク
自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。
※設定により変更することができます。☞F-21

⑮道路
道路の種類を色で区別しています。
青　色　　：高速道路、有料道路
赤　色　　：国道
緑　色　　：主要地方道、県道
灰色(太線)：一般道、細街路(経路案内対象)
灰色(細線)：細街路(経路案内対象外)
青色(破線)：フェリー航路
　　　　　　※灰色(破線)はルート探索できません。
※市街地図(縮尺スケールが50m以下の地図)の場合、高速道路・有料道路以外は上記と異なる色で表示されます。
※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

⑯立体アイコン
特定の建物を立体的に表示します。

現在地を表示する

本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。

1 現在地 を押す。

：現在地の地図が表示されます。

現在地表示画面

①
②
③
④ ⑤ ⑥

① **方位 ボタン**

の先端方向が北を示します。

GPS受信表示

黄色：GPS衛星電波の受信状態が良い。
（GPSを使った測位ができる。）
灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。
（GPSを使った測位ができない。）
または、測位計算中。

② **VICSタイムスタンプ ボタン**

D–18、E–8

③ **縮尺スケール**

地図のスケールを表示します。B–16

④ **現在の時刻**

⑤ **周辺の住所（または道路名）**

「表示項目の設定をする」F–7

⑥ **自車マーク**

自車の現在地を示します。
マークの種類／色を変えることができます。
「自車マークの種類／色を設定する」F–21

表示された現在地が実際の現在地と違う場合

GPS受信表示が黄色の状態（GPS衛星電波を受信した状態）で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。

GPS衛星電波
いい感じ
GPSアンテナ

アドバイス

- 現在地（自車）マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。
- 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 現在地（自車）マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。
「現在地（自車）の位置を設定する」F–22
※GPSを受信すると、受信した位置を表示します。

地図表示(方位)を切り替える(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。
画面には、"進行方向を上"、"3Dビュー"、"北方向を上" の3種類があります。

☞「メイン画面／右画面の設定をする」F–2

1 地図画面の 方位 をタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

「進行方向を上」(平面地図)

進行方向が常に上になるようにして、自車マークと画面の向きを一致させることができます。走行に合わせて地図が回転します。





「3Dビュー」

進行方向は常に画面の上方向になります。







「北方向を上」(平面地図)

地図の動きが気になるときは、北方向を上に固定できます。



アドバイス

● 地図表示(方位)の切り替えはNAVI設定からもできます。
☞「メイン画面／右画面の設定をする」F–2

3Dビューについて

● 3Dビューのときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
● 進行方向は常に画面の上方向になります。
● 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
● 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
● 文字と建物がかさなり文字が見えにくくなる場合があります。

地図表示（方位）を切り替える（2）

平面地図画面とは

真上から地上を見たときのように表した地図画面です。



3Dビューとは

上空から前方の地上を見たときのように表した地図画面です。



地図スクロール(地図を動かす)(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

停車中、見たい地域の方向に地図をタッチしてスクロールすることができます。

地図スクロール

例 平面地図画面で現在地の地図をスクロールする場合

1 画面をタッチする。

：画面にカーソル(–¦–)が表示されます



2 地図をスクロールする。

■ 地図画面を低速でスクロールする場合

① 画面のカーソル(–¦–)近くを動かしたい方向に地図画面をタッチし続ける。

：低速でスクロールします。



■ 地図画面を高速でスクロールする場合

① 画面のカーソル(–¦–)から離れた位置を動かしたい方向にタッチし続ける。

：高速でスクロールします。



 アドバイス

- 現在地に戻るときは、 現在地 を押すか 戻る をタッチします。
- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。

地図スクロール(地図を動かす)(2)

例 3Dビュー表示画面で地図を動かす場合

1 画面をタッチする。

：／が表示されます。



2 動かしたい方向の地図画面、または／をタッチする。

：カーソル(ー¦ー)を中心に右回転(時計まわり)します。

：カーソル(ー¦ー)を中心に左回転(反時計まわり)します。



 アドバイス

- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- カーソル(ー¦ー)に近い部分をタッチすると低速で動き、カーソル(ー¦ー)より遠くなると高速で動きます。
- 3Dビュー表示画面で地図を動かした場合の自車マークはになります。

 アドバイス

地図画面を平面地図画面↔3Dビューと切り替えるには「地図表示(方位)を切り替える」B–11をご覧ください。

微調整をする

微調整は平面地図画面のみ行なうことができます。

※3Dビュー画面の場合は、平面地図画面にしてください。

「地図表示（方位）を切り替える」B–11

※走行中 微調整 は選択できません。

1 画面をタッチし、 微調整 をタッチする。

：画面に  が表示されます。



2 動かしたい方向の矢印をタッチする。

：動かしたい方向に一定の速度でスクロールされます。



アドバイス

 以外をタッチしてもスクロールはしません。
地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印をタッチしてください。

3 調整終了 をタッチする。

：スクロール画面に戻ります。

アドバイス

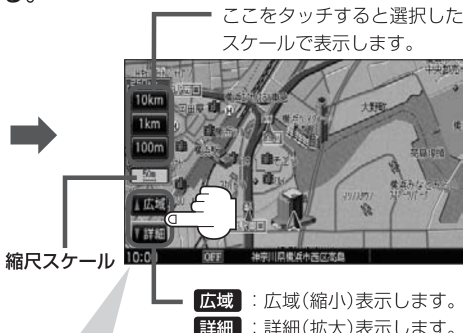
- 地図は矢印をタッチした方向に動かすことができます。
- 現在地に戻るときは、 現在地 を押すか 戻る をタッチします。

地図を拡大／縮小する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

1 地図画面で、広域／詳細 をタッチする。







アドバイス

- 右画面に地図を表示している場合、右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面の 広域 ／ 詳細 をタッチして、同じように操作してください。☞ B-31
- 指定の縮尺の地図がないときは、“指定スケールの地図がありません。より広域の地図を表示します。”と表示し、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、 広域 ／ 詳細 をタッチし続けます。お好みの縮尺スケールになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺スケールで止まります。
- 市街地図データの収録エリアは、☞ H-18をご覧ください。
- 市街地図(5m／12m／25m)から、ビルの中のテナント情報を見ることができます。施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。 設定 をタッチし設定メニューを表示させ、 テナント情報 をタッチすると、テナント情報を見ることができます。(ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報を確認することができます。)

  ※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。

  ※電話番号が収録されている場合 電話する が表示されます。 電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。)
  ☞ 別冊の日産オリジナルマルチシステム(詳細版) M-27
  携帯電話を接続していない場合、 電話する は選択できません。(ボタンは暗くなります)

地図の縮尺スケール

※下記縮尺スケールは全画面(平面／3D)／2画面(左／右画面)表示共通です。

縮尺スケール
🔍5m
🔍12m
🔍25m／25m
50m
100m
200m
500m
1km
2.5km
5km
10km
25km
100km
250km

操作できない項目は暗くなり、選択できません。

HS310D-A HS310-A HS310D-W HS310-W

メニュー画面を表示させる

ナビゲーションの操作のほとんどは、メニューを使って行ないます。
本書では、パネルに配置しているボタンを ボタン 、画面に表示されるボタンを ボタン と表記して操作説明をしています。

例 NAVI設定MENU画面を表示させる

1 メニュー を押す。

2 NAVI設定 をタッチする。

：NAVI設定MENU画面が表示されます。



各メニュー項目について

● メニュー ➡ 目的地 ☞ C–1



次へ をタッチ

前へ をタッチ



● メニュー ➡ ルート ☞ D–1



● メニュー ➡ 情報 ☞ E–1



※ ETC情報 は別売のETCユニット接続時に表示されます。 ビーコン は別売のビーコンキット接続時に表示されます。

● メニュー ➡ NAVI設定 ☞ F–1



● メニュー ➡ システム設定 ☞ G–1



設定を終える

設定を終えるには下記操作を行ないます。

1 **戻る をタッチ、または 現在地 ／ メニュー を押す。**

： 戻る をタッチすると、前の画面に戻ります。
現在地 を押すと、現在地画面に戻ります。
メニュー を押すと、メニュー画面に戻ります。

アドバイス

設定を変更するときに 決定 が表示される場合は 決定 をタッチして設定を保存してください。決定 をタッチしないで、現在地 ／ メニュー を押したり、戻る をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

ページの送り／戻しについて

リストや情報画面などのページを送り／戻しすることができます。

1 **▼ または ▲ をタッチする。**

▼ ：ページを送ります。
▲ ：ページを戻します。



Quick機能について

操作できない項目は暗くなり、選択できません。

HS310D-A HS310-A HS310D-W HS310-W

本機では、主な操作を簡単にするため、Quick機能(Quick MENU／設定メニュー)を設けています。QuickMENUを表示させるには Quick (現在地表示時)、設定メニューを表示させるには 設定 (地図スクロール時)をタッチします。

Quick をタッチ(現在地表示時)

- 自宅
  自宅までのルートを探索します。「現在地から自宅までのルートを探索する」B-30
  ※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。「自宅を登録する」B-26

- お気に入り地点
  登録地の中から１か所のみをお気に入り地点に登録することができます。また、現在地からお気に入り地点までのルート探索をします。「■ お気に入り地点を登録／解除する場合」F-34

- 周辺施設
  現在地の周辺施設を検索することができます。「周辺にある施設から地点を探す」C-22

- 再探索
  ルート案内走行時に設定ルートから外れると、自動的に再探索することができます。
  「再探索をする」D-29
  ※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります)

- 案内ストップ ／ 案内スタート
  タッチするたびに、ルート案内ストップ↔スタートが切り替わります。
  「ルート案内をストップ／スタートする」D-22
  ※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります)

- 渋滞地点
  設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。
  「渋滞地点を確認する」D-18
  ※ルート案内停止中やVICS情報を受信していない場合は表示されません。

- 地点を登録
  地点の登録を行ないます。「地点を登録する」B-24

- 右画面表示
  右画面に地図／ルート情報／エコ運転診断／ハイウェイモードを表示することができます。
  「右画面に地図／情報を表示する」B-31

- メニュー配色
  MENU画面の背景色を変えることができます。「メニューの配色を変える」H-4

- エコ運転診断
  エコ運転診断の設定をすることができます。「エコ運転診断の設定をする」E-2

アドバイス

よくお使いになる機能を現在地表示時のQuick MENUに変更することができます。
「Quick MENUの設定をする」B-23

設定 をタッチ(地図スクロール時)

- 目的地に設定する
  目的地を登録し、ルートを探索します。「現在地から目的地までのルートを探索する」B–29

- 出発地に設定する *
  出発地を登録し、ルート探索します。「出発地／目的地の変更」D–10

- 経由地に設定する *
  経由地を登録し、ルート探索します。「経由地の追加」D–13／「経由地の変更／削除」D–15

- 複数探索
  複数ルート探索を行ないます。「複数ルートを探索する」D–9

- 経由地を追加する *
  経由地を登録し、ルートを探索します。「経由地の追加」D–13
  ※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。

- テナント情報
  テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。
  B–16
  ※市街地図(5m／12m／25m縮尺スケール)でテナント情報のある物件にカーソル(–¦–)をあわせます。

- 自宅に設定する *
  自宅を登録します。「自宅を登録する」B–26

- 地点を登録する
  地点の登録を行ないます。「地点を登録する」B–24

- 地点を編集する
  登録地の編集や並べ替え、削除ができます。「登録地の編集／見る」F–31／「登録地の順番を並び替える」F–36／「自宅／お気に入り地点／登録地を削除する」F–40
  ※登録地マークにカーソル(–¦–)をあわせます。

- 周辺の施設検索
  スクロール先の周辺施設を検索することができます。「周辺にある施設から地点を探す」C–22

- 施設の詳細
  スクロール先に施設の詳細がある場合に住所や電話番号などの詳細情報が確認できます。

＊印…地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

Quick MENUを表示する

1 **現在地表示時に Quick をタッチする。**

：設定した項目が表示されます。

※走行中操作できないボタンまたは利用できない場合は暗くなります。







 アドバイス

Quick MENUについては「Quick機能について」B-20もあわせてご覧ください。

Quick MENUの設定をする

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。

1 現在地表示時に Quick ➡ 設定 をタッチする。

：Quick MENU設定画面が表示されます。



2 右側の配置イメージより配置したい場所を選んでタッチする。

現在設定されているメニューの配置イメージが表示されています。



3 左側のメニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。



4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 解除 をタッチすると設定されているQuick MENUを解除します。
- 全解除 をタッチすると設定されているQuick MENUを全て解除します。
- Quick MENUの設定をお買いあげ時の状態に戻す場合は 初期化 をタッチします。

Quick MENUに追加できる機能

1 自宅
2 お気に入り地点
3 電話番号検索
4 住所検索（住所）
5 登録地検索（登録地）
6 ジャンル検索（ジャンル）
7 目的地履歴検索（目的地履歴）
8 周辺施設検索（周辺施設）
9 再探索
10 案内スタート／ストップ
11 ルート編集
12 ルート全表示
13 登録ルート
14 渋滞地点
15 渋滞予測回避
16 VICS文字情報（文字情報）
17 VICS図形情報（図形情報）
18 VICS表示設定（VICS）
19 地点を登録
20 登録・履歴消去
21 エコ運転診断
22 右画面設定（右画面表示）
23 メニュー配色
24 音声案内
25 ETC情報

（　　）内はQuick MENU表示時のボタン名

地点を登録する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。(最大500か所・自宅を含む。)

1 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(–¦–)を合わせ、設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



微調整 ボタン
B–15

2 地点を登録する をタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。







3 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は「SDカードから地点を登録する」F–42をご覧ください。
- 登録地は500か所まで本機に登録することができます。
- 地図画面をスクロールさせるには「地図スクロール(地図を動かす)」B–13をご覧ください。
- 地点を登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。

登録地について

登録地の名称、フォルダ、マーク、アラームは変更することができます。また、TEL(電話番号)、メモを登録することもできます。
☞「登録地の編集／見る」F–31



登録地の地図を呼び出すことができます。
登録地の表示は全表示とフォルダ表示の2種類の表示方法があります。
☞「登録地で地点を探す」C–8
また、☞「自宅／お気に入り地点／登録地の地図を呼び出す」F–38でも呼び出せます。

登録地の地図は、ルート設定で出発地／経由地／目的地を登録するときに、すばやく登録できます。
☞「ルート設定の流れ」D–4

経由地登録時



地図上の登録地マークの表示を止めることができます。
☞「表示項目の設定をする」F–7

自宅を登録しておくと、自宅までのルート探索(現在地から自宅までのルートを探索する)ができます。
☞「Quick機能について」B–20
☞「(現在地から自宅までのルートを探索する)」B–30



よく行く地点をお気に入り地点に登録して、ルート探索することができます。
☞「Quick機能について」B–20

自宅を登録する(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

自宅を登録しておくと、自宅までのルートを探索することができます。

1 メニュー を押す。

2 NAVI設定 ➡ 登録地編集 をタッチする。

：登録地編集画面が表示されます。



3 自宅編集 をタッチする。

：自宅登録方法画面が表示されます。



自宅を登録すると
“<登録されていません>”
の表示は消えます。

4 登録方法を選択し、タッチする。

自宅登録方法画面



- 電話番号 ☞ C–3
- 住所 ☞ C–5
- 登録地 ☞ C–8
- 目的地付近 ：目的地の地図を表示
- 施設名称 ☞ C–10
- ジャンル ☞ C–14
- 目的地履歴 ☞ C–20
- 周辺施設 ☞ C–22
- SD登録地 ☞ C–25
- マップコード ☞ C–27
- 地図 ：この画面に入る前の地図を表示
- 現在地付近 ：現在地の地図を表示
- 出発地付近 ：出発地の地図を表示
- 市町村名称 ☞ C–29
- 郵便番号 ☞ C–31
- 緯度経度 ☞ C–32

例 住所から自宅を探し登録する

① 住所 をタッチする。

② リストから画面にしたがって "都道府県名" "市区町村名" "町名" "丁目・字・街区・地番・戸番・枝番" を順次選びタッチしていく。

：自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。（ 地図 ／ 現在地付近 ／ 出発地付近 ／ 目的地付近 で探索した場合は、地図のみ表示されます。）

検索方法は「住所で地点を探す」C–5手順 3 を参照。

リスト画面



地名の
頭文字表示*

アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。（入力できない文字は暗くなります。）
  ＊印…頭文字をタッチするごとに選択している行のリストがくり返し表示されます。
- 市町村名入力 をタッチすると市町村名称検索画面が表示され、地名を入力して効率よく場所を絞り込むことができます。「■ 市町村名を入力して探す場合 」C-7
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、 戻る をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

5 自宅を登録する。



■ 表示された位置で良い場合

① 自宅に設定する をタッチする。

■ 地図のみ表示された場合

① 設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

② 自宅に設定する をタッチする。

自宅を登録する(2)

■ 位置の修正やスケールの変更などをする場合

① 閉じる または地図画面をタッチする。

：設定メニューを閉じます。

② カーソル(－¦－)を自宅に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

④ 自宅に設定する をタッチする。



：登録地編集画面に戻ります。登録した位置を確認したい場合は 自宅編集 をタッチし、地図表示 をタッチすると地図が表示されます。（地図上には マークが表示されます。）

アドバイス

- 自動的にマークは になります。マークを変更したい場合は F–31 を参照してください。
- 登録地の表示を しない 設定にしている場合は、自宅を登録しても地図上にマークは表示されません。
  「表示項目の設定をする」F–7
- 自宅を変更したい場合は登録した自宅を削除してから再登録してください。
  「自宅／お気に入り地点／登録地を削除する」F–40

クイック ルート探索をする(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

現在地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

現在地から目的地までのルートを探索する

1 現在地 を押して、
現在地が測位できていることを確かめる。

☞「現在地を表示する」B-10

 アドバイス

現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、修正してください。
☞「現在地(自車)の位置を設定する」F-22

方位表示の背景が黄色ならOK!



現在地表示画面(例)

2 画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

☞「地図スクロール(地図を動かす)」B-13／☞「地図を拡大／縮小する」B-16

3 カーソル(－¦－)を目的地に合わせ、 設定 をタッチして設定メニューを表示させ、 目的地に設定する をタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。





微調整 ボタン
☞ B-15

：参考ルートの探索を始めます。探索完了後ルート全表示画面になります。
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
☞「ルート設定の流れ」D-4

有料道路上に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に登録する場合は 有料道路 を、一般道路上に設定する場合は 一般道路 をタッチしてください。

クイック ルート探索をする(2)

現在地から自宅までのルートを探索する

方位表示の背景が
黄色ならOK!



現在地表示画面(例)

1 現在地 を押して、
現在地が測位できていることを確かめる。

「現在地を表示する」B–10

 アドバイス

現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、修正してください。
「現在地(自車)の位置を設定する」F–22

---

2 現在地表示中に Quick をタッチしてQuick MENUを表示させ、
自宅 をタッチする。







：ルートの探索を始めます。探索完了後ルート全表示画面になります。
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
「ルート設定の流れ」D–4

※すでに探索されているルートがある場合、ルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルート探索を開始します。

 アドバイス

- ✱ (オプション)に“自宅”機能を設定している場合は、 ✱ (オプション)を押すと自宅までのルート探索をします。
  「オプションボタンの設定をする」G–3
- 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。自宅が登録されていない場合、上記手順 2 で自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、 はい を選択すると自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。
  「自宅を登録する」B–26
- 新たにルート探索すると、前回探索したルートは消えます。
- ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。
- Quick ／ 設定 (Quick MENU)の詳しい内容は「Quick機能について」B–20をご覧ください。

 交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

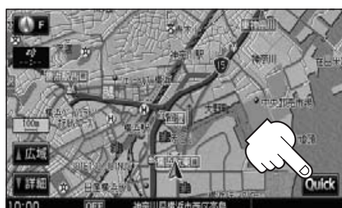
右画面に地図／情報を表示する(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

現在地表示時、画面を２つに分けて、右側に縮尺スケールの異なる地図やルート情報／ハイウェイモード／エコ運転診断の情報画面を表示させることができます。

1 現在地表示時に、 Quick ➡ 右画面表示 をタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。







2 表示項目(地図 ／ ルート情報 ／ ハイウェイモード ／ エコ運転診断)を選択しタッチする。







■ 右画面に地図を表示する場合

① 地図 をタッチする。

：地図が２画面で表示されます。

アドバイス

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 左画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- シミュレーション走行中は右画面地図表示↔全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面地図表示はNAVI設定からも表示させることができます。☞「メイン画面／右画面の設定をする」F–2

右画面の方位／縮尺スケールを変える

右画面地図表示のとき、右画面の方位／縮尺スケールの設定を変えることができます。



方位 ボタン
☞ B–11

広域 ボタン
詳細 ボタン
☞ B–16

右画面に地図／情報を表示する(2)

■ 右画面にルート情報を表示する場合

① **ルート情報** をタッチする。

：ルート案内中にルート情報が表示されます。



ルート情報画面



 アドバイス

ルート情報表示はNAVI設定からも表示させることができます。
「■ ルート情報の表示を設定する場合 」F–12

■ ハイウェイモードを解除したい場合

① **ハイウェイモード** をタッチする。

：表示灯が、消灯しハイウェイモード(高速道路／一般有料道路の情報)を表示しない設定になります。

表示灯消灯



 アドバイス

- ハイウェイモードはNAVI設定からも変更することができます。
  「■ ハイウェイモードの表示を設定する場合 」F–12
- 「■ 右画面にルート情報を表示する場合 」(上記)で **ルート情報** を選択または、「■ ルート情報の表示を設定する場合 」F–12でルート情報の表示"を **する** を選択すると高速道路／一般有料道路の情報も表示する設定になるため、 **ハイウェイモード** を選択できなくなります。
- ハイウェイモードを選択している場合、他の項目を選択していてもハイウェイモードを優先して表示します。

■ 右画面にエコ運転診断を表示する場合

① エコ運転診断 をタッチする。

：エコ運転診断が表示されます。



 アドバイス

エコ運転診断表示は情報からも表示させることができます。
「エコ運転診断の設定をする」E–2



エコ運転診断



全画面表示に戻す

1 B–31 手順 1 にしたがって操作し、手順 2 のとき OFF をタッチする。



文字／数字の入力方法について(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

目的地を施設の名称や電話番号などで探すときや、登録地の編集などをするときに、文字や数字を入力します。

ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する

■ ひらがなを入力する場合

① 文字をタッチして入力し、 無変換 ➡ 決定 をタッチする。

タッチするたびに
→カナ→英数→かな→と切り替わります。
※用途に合わせて切り替えてください。



小文字に変換したい場合
小文字 をタッチする。（50音パレットが小文字*に変わる。）
＊印…選択可能な文字のみ
※ 小文字 ⟷ 大文字 をタッチするたびに、50音パレットが小文字または大文字に切り替わります。

アドバイス

上記の説明は登録地編集（☞ F–31）をする場合の編集画面です。目的地検索でひらがな入力をする場合、表示されるボタンが異なります。

■ 漢字を入力する場合

ひらがなを漢字に変換します。

① 文字をタッチして入力し、 変換 をタッチする。

：変換候補画面が表示されます。



アドバイス

- 漢字変換しない場合は 無変換 をタッチしてください。
- ← ／ → をタッチして変換する文字の範囲を選択することができます。選択されている文字は青色帯で表示されます。
- ■ をタッチすると1文字分のスペースを空けることができます。
- 目的地検索では漢字を入力することはできません。

② 変換したい漢字をタッチし、 決定 をタッチする。







■ カタカナ／英数を入力する場合

① カナ ／ 英数 をタッチする。

：50音パレットがカタカナ／英数表示になります。

タッチするたびに→カナ→英数→かな
と切り替わります。
※用途に合わせて切り替えてください。



② 文字をタッチして入力し、 決定 をタッチする。

小文字に変換したい場合

小文字 をタッチする。（50音パレットが小文字*に変わる。）

＊印…選択可能な文字のみ

※ 小文字 ⟷ 大文字 をタッチするたびに、50音パレットが小文字または大文字に切り替わります。

数字を入力する

1 数字をタッチして入力する。



 アドバイス

設定を変更するときに 決定 が表示される場合は 決定 をタッチして設定を保存してください。 決定 をタッチしないで、 現在地 ／ メニュー を押したり、 戻る をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

文字／数字の入力方法について(2)

文字／数字を訂正する



■ 最後の文字を訂正する場合

① 訂正 をタッチする。

■ 全ての文字を訂正する場合

① 訂正 を長めにタッチする。

■ 途中の文字を訂正する場合

① ← ／ → をタッチし、訂正したい場所へカーソルを移動する。

② 訂正 をタッチする。